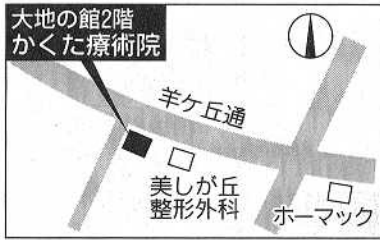


札幌・かくた療術院

「波動共鳴活性療法」
をメインとした施術を
行っている。

同療法は、(株)日本波
動予防医療研究所(本
部・東京都)の菅野秋
男理事長が考案した。
病気や不調の主な原因
を血行不良と考え、独
自の施術機器を用いる
などして「血流改善」
を図り、自然治癒力を
高めることで、体に生
じた痛みやさまざまな
不調を改善するという
もの。全国数力所に講
習センターを開設し、
施術者の養成も行って

満則院長(47)は、札幌
にある同北海道講習セ
ンターで、半年間学ん
で同療法を習得。4年
間、出張施術のみで営
業した後、約4年前に
札幌市厚別区内で店舗
を開設。昨年2月、現
在に移転した。
同院の主な施術内容
を紹介する。まず、専
用機器「バイオ・ウェ
ーブ・コンバーター」
に両手足を7〜19分間
乗せて、体内波動(生
体エネルギー)の調整
を図る。「生体エネル



利用者の足に「はりっこ」を張る

血流改善で自然治癒力 向上

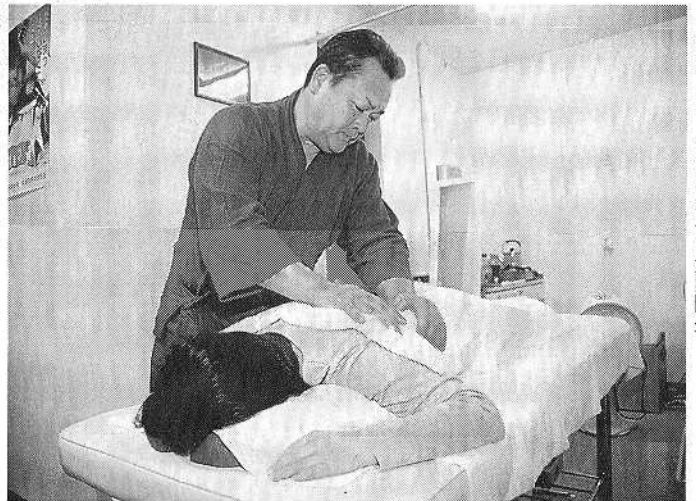
ギィ、すなわち気め
ぐりを良くすること
で、自律神経を整え、
痛みの改善や老化防止
などの効果が期待でき
る」と角田院長は説明
する。

次に、血行を促し、
より施術効果を高める
ために、フットバスで
約5分間の足湯を行っ
た後、電熱で約39度に
温めた専用マットに、
同様の毛布を掛けて45
〜60分間横たわる。

この間、両足指付け
根のツボなど10カ所
に、磁気ほんそうこう
状の専用グッズ「はり
っこ」を張る。「はり
っこは、全身を温め、
ホルモンバランスを整
えて、自然治癒力の向
上に効果が期待でき
る」(角田院長)そう
だ。

最後に、手指や手の
ひらを使った独特の手
技で、全身の筋肉をも
みほぐし、関節のスト
レッチなどを行う。
近所に住む主婦の加

施術の仕上げに、全身の筋肉をもみほぐし、関節
のストレッチなどを行う角田院長



藤恵子さん(40)は、家
事が手につかないほど
「肌がきれいになった」
とも言われています

角田院長は「どんな
症状でも改善が期待で
きる。交通事故や病気
で瀕死の状態だったペ
ットの犬やインコを持
ち込まれたこともある
が、いずれも元気に生
き返らせた」という。
【広瀬昭宏】

「はりっこ」で全身を温め



「バイオ・ウェーブ・コンバーター」を使う利用者